

### エフピコ創業者 小松氏銅像除幕

福山、名誉市民

トレーなど簡易食品容器の製造最大手のエフピコ(福山市)で23日、創業者で昨年亡くなった小松安弘氏の銅像の建立除幕式があった。

小松氏は、1937年の生まれで、62年に前身の福山パル紙工を設立。経済人としてだけでなく、福山の文化・観光振興にも尽力。国産7点を含む日本刀のコレクション14点をあ



完成した小松安弘氏の銅像と佐藤守正社長(右)、作者の中村晋也さん＝福山市

くやま美術館に寄託した。さらに、市立大学の施設充実のために10億円を寄付、元福山そごうの建物の命名権を市から買い取り、市の名誉市民にも選ばれている。

銅像は高さ約2・5メートル、文化勲章受章の彫刻家で、

中村晋也さんが制作。この日は、枝広直幹市長や佐藤守正社長ら60人が集まった。枝広市長は「福山に対する小松氏の貢献は語り尽くせない。改めて偉大さを受け止めながら私たち市民も頑張りたい」と話した。

(天野剛志)